

いたばしNo.1 実現プラン 2025 改訂方針について

1 改訂理由

- No.1 プラン 2025 は令和3年度から令和7年度までを計画期間としているが、事業量・経費及び財政計画は令和5年度までとし、令和6年度以降は方向性のみを示していた。
- 令和6年度及び7年度における事業量・経費及び財政計画を明らかにするとともに、令和8年度以降の次期基本計画を見据え、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージへバージョンアップを図る。

2 性格

- 基本計画 2025 の短期的なアクションプログラム
- 公共施設等総合管理計画

3 計画期間

- 令和6年度・7年度の2か年
- ※ただし、令和8年度以降の次期基本計画に向けた方向性を示す

4 構成

- (1) 次期基本計画を見据えて重点的に取り組む戦略
- (2) 「実施計画」「経営革新計画」「公共施設等ベースプラン」の3編構成
- ※「人材育成・活用計画」は年次計画ではなく、5年間（当面3年間）の展望とその方向性を示したものであるため、今回は改訂せず、残り2か年における（1）の戦略展開に資する取組を（2）の「経営革新計画」に位置付ける（「人材育成・活用計画」は巻末に参考資料として掲載）。人材育成・活用計画は、次期基本計画の策定に併せて、人材育成・活用基本方針の改定時に整理・統合を検討する。

5 改訂の基本的な考え方・方向性

- コロナ禍や物価高など区を取り巻く社会経済環境の変化に対し、区民の生命・健康・財産を守ることを第一に、区民生活の支援と地域経済活性化対策など緊急課題へスピード感をもって適切に対応していく。
- コロナ前に単に戻るのではなく、ウィズコロナにおける様々な工夫を発展的に生かし、サステナブル・リカバリーをめざす。
- SDGs戦略・DX戦略・ブランド戦略の3つを柱とする重点戦略について、3年間の成果を検証しつつ、少子化・子育て世代の転出超過などの人口動態や、国・東京都の政策動向などを踏まえながら、SDGs未来都市として2030年や次期基本計画を見据えて、「東京で一番住みたくなるまち」の新たなステージへバージョンアップを図る今後の戦略展開を明らかにする。

- 緊急財政対策の実施効果と想定を上回る歳入環境の改善を踏まえ、将来を見据えた健全な財政基盤の確立を見通しながら、先送りしていた公共施設の計画的な改築・長寿命化改修を再開する。
- 経営革新について、戦略を効果的・効率的に推進するための人材育成・活用や、公民連携による課題解決と新しい付加価値を生み出すような改革へ重点をシフトし、サステナブルな経営構造への転換を図る。

6 検討体制

庁内に「No.1 プラン検討会」を設置し、庁議において審議・決定する。

7 改訂スケジュール（予定）

令和5年	3月	改訂方針を庁議決定
	4月	No.1プラン検討会
	6月	改訂方針を議会報告、庁内ヒアリング
	8月	No.1プラン検討会
	9月	中間のまとめを庁議決定、議会報告
	10月	No.1プラン検討会
	11月	素案を庁議決定、議会報告
	12月	パブリックコメント募集
令和6年	1月	No.1プラン検討会、原案を庁議決定
	2月	議会報告・公表